

令和8年
2026年

4月13日
月曜日

第11929号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



カミチクとLRは10日、株式会社LRプラスKを設立した……P6

- ▶ [全国の食肉推定在庫・2月] 全在庫は前年同月比3・3%減……P2
- ▶ 人員不足は、引き続き養豚経営の大きな課題—JPPA養豚農業実態調査①……P3
- ▶ [牛肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年比2・0%増……P4
- ▶ 宮崎県都城市での豚熱発生を受け、農水省が対策本部を開催—鈴木農相……P4
- ▶ [豚肉需給動向・2月] 推定出回り量は0・9%増……P5
- ▶ カネ美食品が愛知県に新工場……P5
- ▶ カミチクHDとLR社が共同で通販会社を設立新会社ビジョン「日本一の食肉通販会社を目指す」……P6
- ▶ 切りたてのローストビーフを訴求する「KOHYO ロサヴィア茨木店」が大阪府茨木市にオープン……P6~7
- ▶ [鶏肉需給動向・2月] 推定出回り量は0・5%減調……P7
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛は高値相場続く、豚は700円絡みか……P8
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】和牛相場高騰続く、豚も目立った下げなし……P8
- ▶ 大阪市食肉市場が豚原皮価格を改定……P8
- ▶ [資料]2026年2月分の食肉輸入通関実績①……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]10日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]10日……P11

注目のヘッドライン

カミチクHDとLR社が共同で通販会社を設立

カミチクホールディングスとLRは10日、鹿児島市内のKHD本社で、2月末に共同設立した通販会社に関する記者会見を行った。

…詳細はP6

[全国の食肉推定在庫・2月] 全在庫は前年同月比3・3%減

…詳細はP2



多岐にわたる情報を網羅 食肉通信社

銘柄牛肉 ガイドブック



25 380
ブランド以上 B5判/258頁
定価2,500円

【全国の食肉推定在庫・2月】 全在庫は前年同月比3・3%減

農畜産業振興機構が公表した2月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は56万3258t(前年同月比3・3%減)と前年同月を下回り、前月比でも1・0%減少した。

畜種別では牛肉の輸入在庫が13万850t(6・4%増)となり、前月からは2・2%減。国産在庫は8980t(11・3%減)となり、前月比でも5・0%減となった。牛肉全体の推定在庫は13万9830t(5・1%増)となり、前月比では2・4%減となった。

豚肉は輸入在庫が18万6194t(3・4%減)と前年

同月から減少。前月比でも2・1%減となった。一方、国産在庫は2万3465t(2・7%減)と前年同月を下回り、前月比では2・4%増となった。豚肉全体の推定在庫は20万9659t(3・4%減)となり、前月比でも1・6%減となった。

また、鶏肉の輸入在庫は11万4113t(18・0%減)と減少し、前月比では1・7%増となった。国産在庫は3万7059t(44・1%増)となり、前月から0・6%増となった。鶏肉全体の推定在庫は15万1172t(8・3%減)となり、前月からは1・4%増となっている。

【2026年2月の食肉の推定在庫】

単位:トン、比率%

区分		9月	10月	11月	12月	1月	2月	前月比	前年比	
牛	全在庫	171,629	172,238	167,935	166,722	172,287	166,607	96.7	106.4	
	冷凍品	154,354	154,298	149,703	149,307	155,062	150,084	96.8	106.0	
	冷蔵品	17,275	17,940	18,232	17,415	17,225	16,523	95.9	110.6	
	未通関計	22,211	23,517	22,511	25,199	28,985	26,777	92.4	114.0	
	推定期末在庫	149,418	148,721	145,424	141,523	143,302	139,830	97.6	105.1	
	冷凍品	132,354	131,118	127,749	124,629	126,266	123,697	98.0	104.5	
	冷蔵品	17,064	17,603	17,675	16,894	17,036	16,133	94.7	109.5	
	肉	輸入在庫計	138,987	138,897	135,399	131,961	133,852	130,850	97.8	106.4
		冷凍品	123,120	122,515	119,018	116,300	117,948	115,899	98.3	106.0
		冷蔵品	15,867	16,382	16,381	15,661	15,904	14,951	94.0	109.5
内 国産在庫計		10,431	9,824	10,025	9,562	9,450	8,980	95.0	88.7	
冷凍品		9,234	8,603	8,731	8,329	8,318	7,798	93.7	86.3	
冷蔵品		1,197	1,221	1,294	1,233	1,132	1,182	104.4	108.8	
豚	全在庫	245,269	241,419	226,943	212,939	221,917	219,343	98.8	94.8	
	冷凍品	231,914	227,624	213,463	199,933	206,815	203,618	98.5	94.2	
	冷蔵品	13,355	13,795	13,480	13,006	15,102	15,725	104.1	102.6	
	未通関計	10,549	10,019	7,813	7,943	8,830	9,684	109.7	66.9	
	推定期末在庫	234,720	231,400	219,130	204,996	213,087	209,659	98.4	96.6	
	冷凍品	221,828	217,845	206,285	192,617	198,651	194,401	97.9	96.2	
	冷蔵品	12,892	13,555	12,845	12,379	14,436	15,258	105.7	103.0	
	肉	輸入在庫計	213,175	209,457	196,931	182,068	190,177	186,194	97.9	96.6
		冷凍品	200,743	196,288	184,482	170,495	176,243	171,447	97.3	96.0
		冷蔵品	12,432	13,169	12,449	11,573	13,934	14,747	105.8	103.1
内 国産在庫計		21,545	21,943	22,199	22,928	22,910	23,465	102.4	97.3	
冷凍品		21,085	21,557	21,803	22,122	22,408	22,954	102.4	97.3	
冷蔵品		460	386	396	806	502	511	101.8	98.6	
鶏	全在庫	168,371	167,896	159,977	151,041	151,955	154,278	101.5	89.9	
	未通関計	4,242	3,589	3,140	3,009	2,926	3,106	106.2	46.3	
	推定期末在庫	164,129	164,307	156,837	148,032	149,029	151,172	101.4	91.7	
	肉	内 輸入在庫計	130,250	129,858	121,635	111,656	112,209	114,113	101.7	82.0
国産在庫計		33,879	34,449	35,202	36,376	36,820	37,059	100.6	144.1	
羊	全在庫	3,789	3,627	3,396	3,180	3,783	3,958	104.6	123.9	
	未通関計	266	256	271	207	244	360	147.5	165.9	
	推定期末在庫	3,523	3,371	3,125	2,973	3,539	3,598	101.7	120.8	
	肉	内 輸入在庫計	3,314	3,175	2,925	2,785	3,366	3,437	102.1	120.0
国産在庫計		209	196	200	188	173	161	93.1	140.0	
その他	全在庫	18,972	20,037	19,657	18,415	18,799	19,072	101.5	97.5	
	未通関計	555	573	563	430	798	900	112.8	122.3	
	推定期末在庫	18,417	19,464	19,094	17,985	18,001	18,172	100.9	96.5	

人員不足は、引き続き養豚経営の大きな課題—JPPA 養豚農業実態調査①

日本養豚協会(JPPA)はこのほど、令和7年度養豚農業実態調査を実施した。平成28年度から実施している同実態調査は、養豚生産者を対象に養豚業におけるコスト削減や生産性向上の取り組みなどの実態を把握・分析することにより、養豚経営の体質を強化することを目的として農水省所管の独立行政法人農畜産業振興機構からの補助を受けて実施している。令和7年度の調査では、全国、地域別、子取り用雌豚頭数規模別などに加え、経年比較も交えて集計・分析。基本的な経営実態を把握するための定型設問の他、ベンチマーキングへの参加状況、浄化槽処理に関する調査や、近年の猛暑に対応する機器の導入状況、飼料の運賃、災害時対応のための事業継続計画(BCP)などについての設問も追加した。

従業員について、「人員は足りている」が、2年連続で増加。ただし、依然として養豚経営の30%超で「人員は足りていない」状況が続く。養豚農業実態調査報告書で「人員は足りている」とした回答者の割合はやや増加したものの、生産者戸数が減少傾向で推移していることを鑑みると、状況が改善しているのではなく、廃業にまで至った可能性も。現場の人員不足については、引き続き養豚経営の大きな課題となっている。

一方、後継者については、「決まっている」割合は、2年連続で増加。いない・考えていない」割合は、3年ぶりに増加。回答があった487経営体のうち、後継者が「決まっている」経営体が最も多く28.7%を占めた一方、「後継者はいない・考えていない」が21.8%となった。二極化が進展する中、「自分の年齢が若いので考えていない」が4年連続で増加しており、一定程度の世代交代が確実に行われてきたことが垣間みえる。

回答者458経営体の総飼養総頭数は、257万2603頭。1経営体当たり平均頭数は、5617頭。直近の農林水産省の「畜産統計」の結果(24年2月1日現在)では、全国の飼養戸数(飼養地〈畜舎〉ベース)は3130戸(うち子取り用雌豚飼養戸数2390戸)、総飼養頭数は879万8千頭(う

ち子取り用雌豚頭数75万8300頭)、1戸当たり飼養頭数は2810.9頭となっている。飼養頭数をみると、回答者で全国の3割程度を占めている。

回答者384経営体の子取り用雌豚総飼養頭数は、19万4240頭。そのうち「純粋種」は2万6283頭(13.5%)、「交雑種」は16万7957頭(86.5%)となっている。「純粋種」の飼養頭数は、国産「ランドレース」の5046頭が最も多く、次いで海外産「ケンボロー」の4260頭、海外産「ハイポー」の3120頭と続く。「交雑種」の飼養頭数は、国産「LW、WL」の9万4880頭が最も多く、次いで海外産「ケンボロー」の1万9964頭、海外産「TOPIGS」の1万9458頭と続く。

回答者327経営体の種雄豚の総飼養頭数は、6233頭。「純粋種」の総頭数は3763頭で、最も多く飼養されているのは国産「デュロック」(2468頭)で65.6%を占める。「交雑種」では海外産「ハイポー」が最も多く、1344頭で54.4%を占める。

本調査による肉豚出荷頭数について、農林水産省の「食肉流通統計」24年度の全国のと畜頭数(1614万8499頭)と比較した。439経営体で全国シェアの3割弱をカバー。肉豚出荷頭数「2万頭以上」の経営体数は14.6%だが、出荷頭数のシェアは6割を超える。

肉豚の出荷日齢をみると、平均出荷日齢は182.4日、平均体重は113.3kg、枝重76.1kg。枝重増加の要因として、23年1月から26年ぶりに改正された豚枝肉取引規格が適用され、重量帯の上限と下限が3kgずつ引き上げられたことも挙げられる。(連載続く)

肉豚出荷日齢：地域別

	肉豚出荷日齢平均	肉豚出荷生体重平均	肉豚1頭当たり 枝肉重量平均	1日平均増体重 (g)
全国	182.4	113.3	76.1	621.2
北海道	175.1	109.2	75.5	623.2
東北	173.2	113.3	76.0	647.6
関東	179.4	110	75.0	613.2
北陸	184.0	116.8	77.1	634.8
東海	180.9	117.1	77.7	647.3
近畿	216.4	124.0	74.4	573.0
中国・四国	187.3	122.2	78.2	652.4
九州・沖縄	194.2	111.7	75.7	575.2

[牛肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年比2・0%増

農畜産業振興機構が発表した2月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は5万9237t(前年同月比2・0%増)と前年同月を上回った。このうち国産品は2万5250t(0・3%減)、輸入品は3万3717t(3・8%増)となった。

国内生産量は2万5949t(1・5%減)だった一方、輸入量は3万715t(4・6%増)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が8980t(11・3%減)、輸入品が13万850t(6・4%増)で合計13万9830t(5・1%増)となった。

[牛肉需給表]

(単位:t、()内前年比%)

年度・月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品
令和5年12	31,557 (99.5)	36,092 (96.4)	117,207 (82.0)	12,619 (99.4)	44,861 (100.6)	30,833 (99.9)
令和6年1	27,314 (102.5)	43,264 (108.4)	122,238 (85.3)	11,618 (97.2)	38,233 (96.7)	27,712 (102.8)
2	26,904 (101.6)	31,010 (81.6)	117,666 (82.5)	11,442 (92.7)	35,582 (92.0)	26,385 (103.6)
3	28,696 (97.3)	38,362 (104.3)	111,229 (81.1)	13,108 (104.1)	44,799 (106.1)	26,259 (92.2)
4	31,126 (103.0)	63,202 (93.1)	124,210 (84.0)	11,835 (95.7)	50,221 (87.7)	31,620 (106.5)
5	28,272 (103.6)	48,512 (104.4)	128,998 (87.0)	12,269 (100.1)	43,724 (95.2)	27,285 (101.6)
6	27,417 (96.5)	47,574 (109.0)	135,344 (91.4)	11,885 (97.1)	41,228 (93.9)	27,029 (97.2)
7	32,090 (104.6)	49,342 (127.5)	140,727 (96.0)	11,271 (90.4)	43,959 (109.5)	31,956 (107.2)
8	25,883 (96.6)	48,897 (107.1)	147,288 (99.5)	10,966 (88.8)	42,336 (95.7)	25,423 (96.8)
9	28,279 (100.6)	38,168 (103.1)	144,550 (100.8)	11,298 (87.6)	40,906 (98.2)	27,026 (101.1)
10	31,221 (102.6)	43,933 (108.9)	145,078 (105.2)	11,230 (86.2)	43,405 (94.6)	30,480 (103.5)
11	34,984 (99.9)	34,574 (103.5)	136,791 (108.6)	10,867 (84.9)	42,861 (94.6)	34,417 (100.0)
12	32,224 (102.1)	39,209 (108.6)	129,801 (110.7)	10,694 (84.7)	46,199 (103.0)	30,631 (99.3)
令和7年1	27,305 (100.0)	32,541 (75.2)	126,100 (103.2)	10,131 (87.2)	36,242 (94.8)	27,231 (98.3)
2	26,345 (97.9)	29,353 (94.7)	122,960 (104.5)	10,125 (88.5)	32,493 (91.3)	25,602 (97.0)
3	28,305 (98.7)	30,955 (80.7)	121,690 (109.4)	10,518 (80.2)	32,225 (71.9)	26,937 (102.6)
4	30,580 (98.2)	53,087 (84.0)	129,540 (104.3)	9,928 (83.9)	45,237 (90.1)	30,210 (95.5)
5	27,320 (96.6)	48,403 (99.8)	137,482 (106.6)	9,891 (80.6)	40,461 (92.5)	26,505 (97.1)
6	27,841 (101.5)	42,220 (88.7)	138,534 (102.4)	8,963 (75.4)	41,168 (99.9)	27,803 (102.9)
7	32,112 (100.1)	46,926 (95.1)	141,821 (100.8)	10,329 (91.6)	43,639 (99.3)	29,774 (93.2)
8	24,893 (96.2)	43,219 (88.4)	142,387 (96.7)	10,476 (95.5)	42,653 (100.7)	23,884 (93.9)
9	28,589 (101.1)	38,340 (100.4)	138,987 (96.2)	10,431 (92.3)	41,740 (102.0)	27,744 (102.7)
10	30,767 (98.5)	49,168 (111.9)	138,897 (95.7)	9,824 (87.5)	49,258 (113.5)	30,347 (99.6)
11	33,324 (95.3)	38,712 (112.0)	135,399 (99.0)	10,025 (92.3)	42,210 (98.5)	31,971 (92.9)
12	32,843 (101.9)	43,015 (109.7)	131,961 (101.7)	9,562 (89.4)	46,453 (100.5)	31,491 (102.8)
令和8年1	26,897 (98.5)	39,771 (122.2)	133,852 (106.1)	9,450 (93.3)	37,880 (104.5)	26,178 (96.1)
2	25,949 (98.5)	30,715 (104.6)	130,850 (106.4)	8,980 (88.7)	33,717 (103.8)	25,520 (99.7)

宮崎県都城市での豚熱発生を受け、農水省が対策本部を開催、隣接する熊本・鹿児島にも防疫対策の徹底要請—鈴木農相

農水省は10日、宮崎県都城市の養豚農場で発生した豚熱の患畜を受け、農水省豚熱・アフリカ豚熱対策本部を開催した。

冒頭、鈴木憲和農水大臣(写真)は「10日、宮崎県都城市の農場で豚熱の感染が確認された。南九州での飼養豚での発生は初めてとなる。南九州はわが国飼養頭数の約4分の1を占める養豚の主要産地である。農水省では、宮崎県と緊密に連携し、緊張感をもって迅速かつ適切な防疫措置に万全を期していく。また、飼養衛生管理の徹底が重要であるということは前提だが、発生農場においては、付近での野生猪での感染事例が多数確認されている。このことから、さら

なる発生防止のため宮崎県、熊本県および鹿児島県の3県においては、野生猪の接近防止対策、病原体の侵入防止のための消毒、適時適切なワクチン接種の三つを徹底いただきたい。全国の都道府県や生産者の皆さまにも、改めて飼養衛生管理の徹底を図るとともに早期通報の徹底をお願いする」と述べた。



【豚肉需給動向・2月】 推定出回り量は0・9%増

農畜産業振興機構が発表した2月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は14万2735t(前年同月比0・9%増)となった。このうち国産品は7万3310t(2・0%増)と増加、輸入品は6万9425t(0・3%減)と減少した。

また、国内生産量は7万3952t(1・9%増)、輸入量は6万5442t(9・0%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が2万3465t(2・7%減)、輸入品が18万6194t(3・4%減)で合計20万6959t(3・4%減)となった。

【豚肉需給表】

(単位:t、()内前年比%)

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品
令和5年12	81,152 (101.9)	67,663 (98.3)	170,120 (91.8)	21,381 (107.9)	81,796 (103.5)	79,774 (101.7)
令和6年1	80,283 (103.7)	72,027 (96.2)	173,172 (91.8)	20,836 (112.4)	68,975 (96.4)	80,748 (102.7)
2	77,558 (106.3)	64,527 (90.6)	165,686 (87.6)	21,439 (107.7)	72,013 (101.7)	76,853 (107.5)
3	77,333 (94.7)	74,351 (107.7)	166,119 (87.6)	23,117 (114.3)	73,918 (107.8)	75,518 (93.0)
4	78,976 (107.0)	98,780 (90.2)	174,059 (85.3)	22,670 (110.2)	90,840 (95.5)	79,317 (108.2)
5	76,183 (100.1)	94,087 (104.9)	189,925 (84.8)	24,239 (120.0)	78,221 (111.9)	74,520 (97.6)
6	66,309 (90.2)	81,660 (100.4)	193,156 (85.8)	24,750 (126.4)	78,429 (98.0)	65,690 (88.9)
7	71,674 (105.0)	86,155 (115.1)	195,529 (88.8)	23,227 (111.9)	83,782 (104.8)	73,096 (109.2)
8	65,646 (93.5)	84,078 (113.8)	200,290 (92.0)	22,108 (105.1)	79,317 (104.1)	66,669 (95.5)
9	68,742 (98.9)	78,666 (127.4)	201,197 (98.9)	21,580 (100.6)	77,759 (102.4)	69,187 (100.4)
10	79,514 (101.3)	86,742 (123.7)	201,922 (104.7)	21,384 (108.6)	86,017 (106.5)	79,588 (99.4)
11	78,376 (94.8)	78,216 (104.5)	194,797 (105.7)	21,389 (106.1)	85,341 (102.4)	78,264 (95.3)
12	80,655 (99.4)	76,518 (113.1)	185,736 (109.2)	22,458 (105.0)	85,579 (104.6)	79,418 (99.6)
令和7年1	79,908 (99.6)	80,505 (111.8)	190,508 (110.0)	23,536 (113.0)	75,733 (109.8)	78,746 (97.6)
2	72,607 (93.6)	71,911 (111.4)	192,819 (116.4)	24,121 (112.5)	69,600 (96.6)	71,884 (93.5)
3	76,052 (98.3)	65,956 (88.7)	192,115 (115.6)	24,424 (105.7)	66,660 (90.2)	75,606 (100.1)
4	77,457 (98.1)	93,904 (95.1)	197,256 (113.3)	24,518 (108.2)	88,763 (97.7)	77,266 (97.4)
5	73,100 (96.1)	90,460 (96.1)	214,149 (112.8)	24,091 (99.4)	73,567 (94.0)	73,406 (98.6)
6	68,598 (103.5)	83,731 (102.5)	220,673 (114.2)	24,002 (97.0)	77,207 (98.4)	68,560 (104.4)
7	69,871 (97.5)	82,687 (96.0)	219,105 (112.1)	22,399 (96.4)	84,255 (100.6)	71,374 (97.6)
8	63,753 (97.1)	74,022 (88.0)	216,178 (107.9)	21,855 (98.9)	76,949 (97.0)	64,151 (96.2)
9	70,991 (103.3)	76,220 (96.9)	213,175 (106.0)	21,545 (99.8)	79,223 (101.9)	71,134 (102.8)
10	81,313 (102.3)	84,875 (97.8)	209,457 (103.7)	21,943 (102.6)	88,593 (103.0)	80,789 (101.5)
11	76,416 (97.5)	65,268 (83.4)	196,931 (101.1)	22,199 (103.8)	77,794 (91.2)	75,962 (97.1)
12	82,615 (102.5)	68,313 (89.3)	182,068 (98.0)	22,928 (102.1)	83,176 (97.2)	81,767 (103.0)
令和8年1	80,664 (100.9)	83,073 (103.2)	190,177 (99.8)	22,910 (97.3)	74,964 (99.0)	80,567 (102.3)
2	73,952 (101.9)	65,442 (91.0)	186,194 (96.6)	23,465 (97.3)	69,425 (99.7)	73,310 (102.0)

カネ美食品が愛知県に新工場、グループへの総菜供給体制強化

カネ美食品は9日、愛知県丹羽郡扶桑町に新工場を建設し生産供給体制を強化すると発表した。

同社親会社であるパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH)グループに属するユニー、UDリテール、長崎屋、ドン・キホーテでは総菜需要が拡大。同社製品への需要が増加しているという。また、PPIHは同社工場をグループの戦略的な製造拠点と位置付けるとともに、長期経営計画で「総菜をPPIHグループの成長戦略の中核とする」方針を示している。これに加え、新業態「ロビン・フード」の出店拡大により、今後も総菜需要の拡大が想定される。

PPIHグループ各社における「内製品」の安定的かつ効率的な供給体制を強化するため、同社として最大規模となる新たな生産拠点を建設すると決定した。

新工場は、中京から関西エリアへの生産を集約および生産キャパシティの拡大、同拠点におけるPPIHと共同開発体制を構築するなどグループシナジーを最大限に発揮し、高品質な製品を安定的に供給するための基幹拠点として機能させる。建設面積は6491・03㎡、取得見込価額48億6500万円。6月に着工し、2028年3月からの稼働開始を予定している。業績への貢献は29年2月期以降になる見込み。

カミチクHDとLR社が共同で通販会社を設立 新会社ビジョン「日本一の食肉通販会社を目指す」

グループで畜産の6次化を展開するカミチクホールディングス(本社=鹿児島市、上村昌志社長、以下=KHD)とふるさと納税の返礼品受託やEC(電子商取引)サイトの運営支援を担うLR(同=同県日置市、末永祐馬社長)は10日、鹿児島市内のKHD本社で、2月末に共同設立した通販会社に関する記者会見を行った。生産者とEC支援会社が互いの強みを持ち寄ることで産地資源を最大限に生かし、地方発の新しい価値を全国、世界に発信していく。

新会社の社名は「株式会社LRプラスK」(本社=同市東開町2-5、資本金900万円、会社設立2月27日)。出資比率はKHDとLRの6:4で、新会社の代表取締役会長には食肉の製造卸を担う事業会社カミチクの上村昌平社長(写真右)、代表取締役社長にはLR社の末永氏(写真中央)がそれぞれ就く。

会見の冒頭、取締役として30代の若い経営陣を支援するKHDの上村社長(写真左)は「九州、鹿児島の生産者、製造業のみなさんが元気に、地域全体が再生、発展していくためにこの会社をつくった。ビジョンは日本一、質の高い食肉の通販会社をつくること」。そして2人の経営陣については「若い感性と地域を何とかしないといけないという熱い思いがある」と高く評し



「食肉通販の世界で、ぜひ革命を起こしてほしい」と今後の活躍に期待を寄せた。

また新会社の上村会長は「カミチクグループの出口戦略として生産者の思いを食卓につなぎ、喜びと元気を与えたい」。同じく末永社長は「日本一を目指し全力で業務に励む」と語り、意欲をみせた。

新会社ではカミチクグループがこれまで自前で担ってきた畜産製品のEC販売やふるさと納税の返礼品事業など関連業務を移管し初年度で10億円、3年後には15億円の売り上げを目指す計画。事業が軌道に乗れば卸先など法人向けにBtoBtoCによるECソリューションの支援サービスなどの展開も視野に入れている。

切りたてのローストビーフを訴求する「KOHYO ロサヴィア茨木店」 が大阪府茨木市にオープン

切りたてのローストビーフを訴求―。9日に大阪府茨木市にオープンした食品スーパー「KOHYOロサヴィア茨木店」では、大阪府八尾市の自社工場で焼き上げ、近隣店で加工したローストビーフを展開。“切りたて”の鮮度感を追求した。

阪急京都線「茨木市駅」直結の商業施設「ロサヴィア」内にオープン。1km圏内に4万6千人、2万2千世帯が在住しており、茨木市駅には5万3千人の乗降客があるため、集客に期待できる立地となっている。

20~40代単身・2人世帯がターゲットで、通勤利用客の取り込みにも注力し、おいしさ・便利・時短をコンセプトに総菜や簡便商品を強化する。



その取り組みとして畜産ではローストビーフを強化していく。鹿児島県産黒毛和牛や米国産ブラックアンガス牛のローストビーフを、複数サイズ用意して展開し

た。

その他、鹿児島県産黒毛和牛ロースをオープニングセール価格として100g当たり498円(税別)で販売。また、豚・鶏肉を用いた味付け済み、半調理加工済み商品をコーナー化し、フェースを広げて展開することで簡便需要に対応した。

運営するダイエーは3月1日に、子会社の(株)光洋を吸収合併。「KOHYO」は光洋が展開していた業態で、阪急沿線で高い支持を集めている。同店は新生ダイエーとして1号店となる。

また、25日にダイエーは、グループのイオンが同日に開業するショッピングセンター「イオンタウンあびこ駅



前」内に、核店舗「フードスタイルあびこ駅前店」を出店する。同店では、新生ダイエーとしての新しいMDが取り入れられている。

[鶏肉需給動向・2月] 推定出回り量は0・5%減

農畜産業振興機構が発表した2月分の鶏肉需給動向によると、推定出回り量は18万3565t(前年同月比0・5%減)だった。このうち国産品は13万9238t(1・8%増)、輸入品は4万4237t(6・9%減)となった。

また、国内生産量は13万9477t(2・4%増)、輸入量は4万6231t(3・1%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が3万7059t(44・1%増)、輸入品が11万4113t(18・0%減)で合計15万1172t(8・3%減)となった。

[鶏肉需給表]

単位:トン、()内前年比%

年度・月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品
令和5年11	146,801 (101.8)	39,181 (78.7)	119,960 (92.3)	30,873 (132.1)	50,147 (105.9)	145,682 (99.7)
12	155,398 (101.5)	50,981 (115.1)	115,660 (93.1)	33,551 (136.1)	55,281 (110.5)	152,720 (100.6)
令和6年1	140,093 (102.0)	54,687 (123.3)	125,877 (100.2)	31,152 (127.5)	44,470 (103.5)	142,492 (103.5)
2	144,552 (108.0)	55,395 (117.6)	124,137 (96.9)	34,868 (139.6)	57,135 (128.1)	140,836 (105.6)
3	143,802 (100.4)	52,670 (110.8)	129,110 (101.8)	36,868 (136.3)	47,697 (97.7)	141,802 (100.5)
4	146,411 (104.8)	52,006 (109.7)	127,057 (106.3)	35,506 (128.9)	54,059 (98.7)	147,773 (106.2)
5	147,168 (103.0)	53,259 (103.0)	131,041 (102.8)	36,263 (123.6)	49,275 (112.7)	146,411 (103.8)
6	143,169 (101.0)	49,373 (85.6)	133,066 (99.6)	36,708 (128.4)	47,348 (91.8)	142,724 (100.2)
7	139,722 (104.5)	51,778 (110.9)	133,594 (103.1)	35,468 (115.9)	51,250 (101.1)	140,962 (107.1)
8	130,029 (97.3)	56,697 (101.3)	137,941 (103.5)	35,094 (109.7)	52,350 (100.2)	130,403 (98.6)
9	135,916 (100.1)	49,125 (101.6)	136,518 (103.0)	33,154 (110.3)	50,548 (102.7)	137,856 (100.1)
10	147,681 (101.5)	62,323 (130.4)	141,112 (107.8)	32,202 (108.2)	57,729 (116.9)	148,633 (101.9)
11	144,235 (98.3)	51,967 (132.6)	139,323 (116.1)	30,780 (99.7)	53,756 (107.2)	145,657 (100.0)
12	154,393 (99.4)	49,932 (97.9)	134,940 (116.7)	29,565 (88.1)	54,315 (98.3)	155,608 (101.9)
令和7年1	139,100 (99.3)	52,300 (95.6)	139,154 (110.5)	26,258 (84.3)	48,086 (108.1)	142,407 (99.9)
2	136,695 (94.6)	47,691 (86.1)	139,214 (112.1)	25,720 (73.8)	47,631 (83.4)	137,233 (97.4)
3	146,506 (101.9)	42,303 (80.3)	131,242 (101.7)	25,771 (69.9)	50,275 (105.4)	146,455 (103.3)
4	148,548 (101.5)	47,714 (91.7)	127,432 (100.3)	24,973 (70.3)	51,524 (95.3)	149,346 (101.1)
5	146,331 (99.4)	48,537 (91.1)	128,174 (97.8)	26,982 (74.4)	47,795 (97.0)	144,322 (98.6)
6	141,698 (99.0)	51,556 (104.4)	128,818 (96.8)	29,793 (81.2)	50,912 (107.5)	138,887 (97.3)
7	142,858 (102.2)	48,245 (93.2)	124,093 (92.9)	31,278 (88.2)	52,970 (103.4)	141,373 (100.3)
8	138,069 (106.2)	49,613 (87.5)	126,707 (91.9)	33,153 (94.5)	46,999 (89.8)	136,194 (104.4)
9	142,551 (104.9)	57,773 (117.6)	130,250 (95.4)	33,879 (102.2)	54,230 (107.3)	141,825 (102.9)
10	151,212 (102.4)	57,322 (92.0)	129,858 (92.0)	34,449 (107.0)	57,714 (100.0)	150,642 (101.4)
11	142,917 (99.1)	43,087 (82.9)	121,635 (87.3)	35,202 (114.4)	51,310 (95.5)	142,164 (97.6)
12	155,755 (100.9)	45,351 (90.8)	111,656 (82.7)	36,376 (123.0)	55,330 (101.9)	154,581 (99.3)
令和8年1	144,742 (104.1)	46,822 (89.5)	112,209 (80.6)	36,820 (140.2)	46,269 (96.2)	144,298 (101.3)
2	139,477 (102.4)	46,231 (96.9)	114,113 (82.0)	37,059 (144.1)	44,237 (93.1)	139,238 (101.8)

【東京食肉卸売市場】牛は高値相場続く、豚は700円絡みか

[牛]前週は和牛、交雑牛共に強含みで推移した。大型連休に向けての引き合いが活発になるこの時期に、出回りの不足感から年末のような相場となっている。月初から和牛は1段上げ。A3からA5までの安値が2400円台の日が続いた。また、交雑牛B4は一時1900円をマークした。

予想以上の相場高騰に、卸各社は価格の見直しを行っている。ただ、相場は高いものの、末端の販売自体それほど動いておらず、消費との乖離かいりが続いているが、「ここまで相場が上がれば動かざるを得ない」(卸)状況だ。

GWに向け交雑牛は品薄、和牛も焼き材中心に引き合いが強い。

乳牛は、輸入物が値上がり、在庫が潤沢ではない中で代替としての需要が高くなっており、スソ物だけではなく、ロイン系も引き合いが出ている。

今週、東京市場の1日当たりの上場は前週並みが予想される。和牛去勢A5は2600～2700円、A4は

2500～2600円、交雑牛B3は1650～1750円の強もちあい。

[豚]新年度に入り、豚枝肉相場はさらに高騰。前週は、上物価格700円台後半の展開が続き、一段高の展開となった。

春先としては異例の高値相場であり、週後半には反動で急落したものの、引き続き700円台で推移している。

前週の全国と畜頭数は6万頭台を割り込む日もみられ、全国的に出荷頭数は減少傾向。

この先、夏のような暑さとなることも予想されており、加えて豚熱の発生も続く中で、出荷頭数は引き続き低調か。

月後半からのゴールデンウイークなどに向けた手当てなども本格化していく時期ではあるが、相場高騰で輸入ポークヘシフトするケースもみられそうだ。

引き続き700円絡みか。

【大阪市食肉卸売市場】和牛相場高騰続く、豚も目立った下げなし

[牛]大型連休向けの仕入れが本格化していることから、和牛相場は高騰している。A5等級は2700円以上で、A4も2500円以上と、4等級も一時の5等級並みの価格となっており、この時期の引き合いの強さとしては、近年、例をみないほどとなっている。

全国的に出荷頭数が多くなく、大阪市場の上場も多くはない。また、高値傾向から思うように仕入れが進んでいない事業者も多いとみられることから、この

先も高値相場に変わりはないとみられる。

交雑牛についても、和牛の代替需要としての引き合いが強まっており、B3等級が1800円と、2千円に迫る価格となっている。

[豚]700円という驚きの価格が続いている。さすがの高値に下押し傾向もみられるものの、当面は目立った下げはないとみられる。

大阪市食肉市場が豚原皮価格を改定、13日と畜分から1円に値下げ

大阪市食肉市場(株)は4月13日と畜分から、豚の原皮価格(40kg以上)を1円(旧価格2円)に改定する。

近年、皮革に代わる素材の台頭や、ライフスタイルの変化により、皮革製品の需要低迷が長引いている。さらに世界的な情勢不安による物価高により、消費

活動も低迷。

このような状況下において、豚原皮は大量の在庫をもたらし、今後もさらに厳しい状況が継続することが見込まれるため、今回の価格改定となった。

[資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑪

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
			CURRENT MONTH		CUMULATIVE YEAR TO DATE	

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
			CURRENT MONTH		CUMULATIVE YEAR TO DATE	

1602.90-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

ARGENT	413 KG	7240	3881	7240	3881
AUSTRAL	601 KG	-	-	600	375
TOTAL	990 KG	7240	3881	7840	4256

1602.90-269 その他の調製をし又は保存に適する処理をした昆虫類(その他のもの)

CHINA	105 KG	200	4506	200	4506
TOTAL	990 KG	200	4506	200	4506

1602.90-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(その他のもの)

CHINA	105 KG	90246	15622	120064	25715
TAIWAN	106 KG	-	-	720	298
MONGOL	107 KG	600	930	600	930
TOTAL	990 KG	90846	16552	121384	26943

1603.00-010 肉エキス及びミートジュース

CHINA	105 KG	-	-	200	952
TAIWAN	106 KG	-	-	107	924
THAILND	111 KG	234	931	234	931
FRANCE	210 KG	-	-	93800	147307
URUGUAY	412 KG	1828	5548	1828	5548
AUSTRAL	601 KG	-	-	52882	109923
PAP NGA	602 KG	-	-	3630	8263
TOTAL	990 KG	2062	6479	152681	273848
(E. U)	991 KG	-	-	93800	147307

1603.00-090 魚又は甲殻類、軟体動物若しくはその他の水棲無脊椎動物のエキス及びジュース

R KOREA	103 KG	23912	26483	63012	60809
CHINA	105 KG	197995	104788	442711	225757
THAILND	111 KG	146000	69050	262657	116277
INDNSIA	118 KG	36520	12861	111800	42438
MALDIVE	126 KG	-	-	1140	1240
SPAIN	218 KG	79838	28370	159982	56943
USA	304 KG	-	-	31406	13651
AUSTRAL	601 KG	14360	16233	14360	16233
TOTAL	990 KG	498625	257785	1087068	533348
(E. U)	991 KG	79838	28370	159982	56943

3502.11-000 卵白(乾燥したもの)

CHINA	105 KG	25000	23952	45000	39828
INDIA	123 KG	56000	63355	172000	228160
NETHLDs	207 KG	128220	146035	436520	524373
BELGIUM	208 KG	16000	21308	22700	30084
FRANCE	210 KG	43500	54574	108750	137603
GERMANY	213 KG	40000	50364	40000	50364
ITALY	220 KG	129200	156137	336189	410781
POLAND	223 KG	20000	23992	82500	98427
LITHUAN	237 KG	-	-	20880	23545
USA	304 KG	0	487	0	1725
BRAZIL	410 KG	-	-	32000	29254
ARGENT	413 KG	57000	59647	125075	130253
TOTAL	990 KG	514920	599851	1421614	1704397
(E. U)	991 KG	376920	452410	1047539	1275177

3502.19-000 卵白(乾燥したものを除く。)

BRAZIL	410 KG	94432	14647	140512	22067
TOTAL	990 KG	94432	14647	140512	22067

(終わり)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月10日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,351	4,854	2,532	-	-	
		安値	2,575	2,508	2,228	-	-	
		平均	2,761	2,750	2,403	-	-	
	69頭	頭数	55	12	2	-	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		-	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	-	
		去 A	高値	4,423	3,454	2,519	-	-
			安値	2,470	2,449	2,441	-	-
	平均		2,763	2,610	2,487	2,361	-	
	216頭	頭数	179	29	7	1	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,443	-	-	-		
1頭	頭数	-	1	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-		
	交雑牛	雌 B	平均	1,942	1,821	1,849	1,737	
		12頭	頭数	1	4	4	3	
雌 C		平均	-	-	1,661	-		
1頭	頭数	-	-	1	-	-		
	去 B	平均	-	1,844	1,827	1,733	-	
		26頭	頭数	-	7	7	12	
去 C		平均	-	1,732	1,743	1,692	-	
	5頭	頭数	-	1	3	1		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	396 407	758 1,002	- 236.0	(競り)	(相対)	
				-	16	50

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,638	2,012	1,867	1,813	-
	B	-	-	1,873	1,778	-
和 去	A	2,789	2,447	2,312	1,960	-
	B	2,264	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,234	1,260
	C	-	-	-	1,234	1,166
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,741	1,720	-
	C	-	-	-	1,639	-
交 去	B	-	1,819	1,783	1,626	-
	C	-	-	1,756	1,723	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	865	908	864	757	652
	安値	725	691	667	498	324
	平均	768	729	697	660	555
	頭数	(4)	(279)	(342)	(336)	(41)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	805	783	-	512
	安値	-	805	783	-	475
	平均	-	805	783	-	503
	頭数	(-)	(4)	(2)	(-)	(10)

[大阪食肉卸売市場] 4月10日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,817	2,532	2,298	-	-
(頭数)	(17)	(7)	(4)	(1)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(2)	(-)
和 去 A	2,733	2,573	-	-	-
(頭数)	(25)	(6)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,977	1,919	1,855	1,706	-
C	-	-	1,704	1,644	-
交雑去 B	-	1,877	1,837	1,788	-
C	-	1,858	1,800	-	-
豚	-	-	-	495	486

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月10日	4月9日	(4月累計)
豚	58,400	60,500	478,000
成牛計	4,460	4,150	34,370
和牛雌	1,230	1,030	8,610
和牛去勢	940	1,320	9,460
乳牛雌	640	720	5,410
乳牛去勢	320	360	3,110
交雑雌	670	330	3,950
交雑去	660	390	3,820

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月10日

東京	1,763 円	(前日 1,791 円)
大阪	1,826 円	(前日 1,833 円)

[豚・全農建値] 4月10日

上	中	取引頭数	市況
725 円	695 円	1,054 頭	強もちあい

と畜 売買	牛 59 頭	豚 126 頭	牛概況	もちあい
	牛 96 頭	豚 56 頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月10日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	702 (691)	- (-)	5,848	-	上伸
仙台 [中]	731 (728)	670 (643)	559	110	堅調
栃木 [地]	765 (826)	723 (800)	1,392	31	急反落
茨城 [地]	720 (754)	694 (726)	1,192	523	続落
群馬 [地]	712 (736)	607 (646)	1,891	263	反落
さいたま [中]	710 (710)	701 (697)	198	195	もちあい
東京 [中]	729 (728)	697 (704)	758	1,002	もちあい
横浜 [中]	738 (735)	689 (702)	661	648	もちあい
山梨 [地]	- (706)	- (694)	118	7	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	767 (780)	734 (771)	905	210	反落
京都 [中]	656 (723)	672 (655)	35	73	もちあい
大阪 [中]	- (710)	- (708)	126	31	-
神戸 [中]	726 (701)	717 (694)	-	47	上伸
岡山 [地]	680 (706)	676 (681)	312	232	弱気配
広島 [中]	- (-)	- (-)	260	49	-
福岡 [中]	702 (713)	668 (683)	440	138	軟調

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月3日～4月9日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,603,886 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,220	1,347	1,227	68,646
うで	752	807	873	802	124,665
ロース	1,089	1,188	1,296	1,204	135,463
ばら	1,194	1,261	1,368	1,273	171,418
もも	795	838	877	836	156,463
ヒレ	1,091	1,129	1,231	1,142	14,733
セット	1,034	1,080	1,097	1,077	932,498

◇近畿圏 総重量 720,013 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,274	1,360	1,432	1,361	59,892
うで	788	806	842	808	115,297
ロース	1,188	1,245	1,312	1,252	100,016
ばら	1,296	1,372	1,455	1,372	125,841
もも	789	804	861	814	163,877
ヒレ	1,106	1,296	1,375	1,293	11,115
セット	1,034	1,086	1,206	1,103	143,975

[食鳥正肉日経相場] 4月9日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	742	834	1,020	173
ムネ	424	496	657	154

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	765	848	1,050	3
ムネ	438	496	610	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月9日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,103	690	550	600	650
安値	770	450	290	360	350
平均	845	511	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

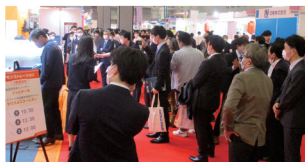
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

イベント

国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、フランクセット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多元化する中で、その時々々の最も話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

教材&レポート等

あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

平野正男 著 鏡 晃 A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版

牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995